

## 飯舘村でワイン用ブドウを栽培する

### ワイン用ブドウ栽培を始めた思い

飯舘村の再生を考えるにつけ、自分たちでも何か新しい農業を始められないか？牛が反芻するように考えていました。使われていない土地を利用し、より多くの人が興味を持つ農業として選んだのが、昨今は特段新しいものではありませんが、ワイン用ブドウ栽培でした。

### 初めてブドウの苗木を定植してから3年

2018年12月に、ふくしま再生の会副理事長の菅野宗夫さん・明治大学農学部元教授の竹迫さんとともに、お二人の帯広畜産大学の同窓生を北海道池田町のブドウ酒研究所に訪ね、飯舘村でのブドウ栽培についてアドバイスをもらったのが始まりでした。翌2019年4月に、山形県の菊地園芸さんから「飯舘村に合った苗木を見つけてください」と70本（13品種）の苗木を寄付してもらい、宗夫さんの滑牧場跡に定植しました。

栽培のノウハウは、二本松市の“ふくしま農家の夢ワイン”の先輩方から教えてもらったり、また自分達でも勉強したりですが、徐々に規模を拡大して現在は佐須の三つの畑で430本余の苗木を育てています。今年の9月には初めてブドウを収穫して、夢ワインさんに醸造を委託しました。

### これからの目標

数年後に達成したい目標は、①堆肥を使った土作りで美味しいワインになるブドウを育てること、②買ってもらえるワインを造りコストを賄うこと、③村民や関心を持ってくれる若者の中から後継者を育てること、の三つです。

ブドウとの対話、人と人との協力を大切にしつつ、日進月歩で進めていきたいと考えています。



2021年春；芽吹き



2021年秋；実り



2022年冬；眠り（写真はいずれも滑牧場畑）